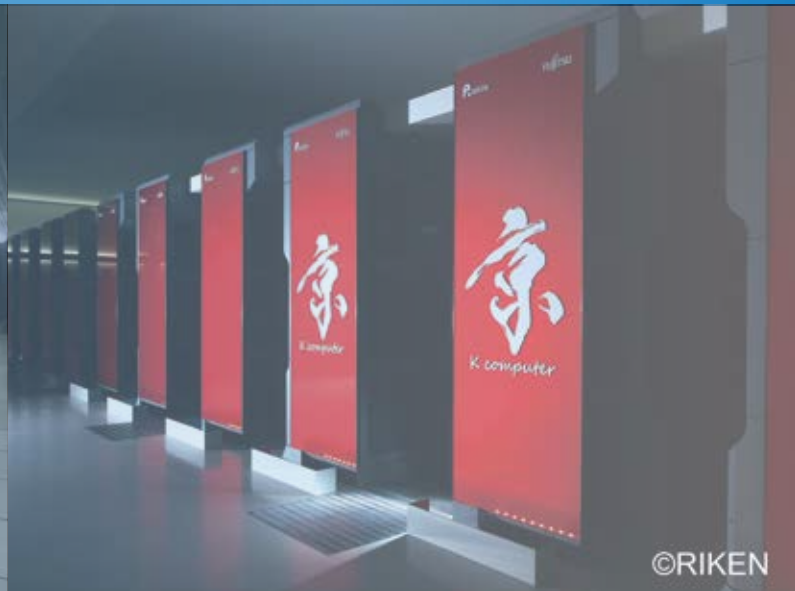


SPIRE Field, 3

文部科学省 高性能汎用計算機高度利用事業費補助金
HPCI 戦略プログラム分野 3 「防災・減災に資する地球変動予測」

第3回シンポジウム

スーパーコンピュータによる 防災・減災に資する地球科学



2013 年

11月27日 (水)

13:00 ~ 17:40 (開場 12:00)

イノカンファレンスセンター

4階 RoomA (定員: 288名)

参加無料・事前登録制

主催: 独立行政法人海洋研究開発機構

■ 全球雲解像モデル NICAM による延長予報・将来台風予測計算

東京大学 大気海洋研究所 教授 佐藤正樹

■ 超高精度メソスケール気象予測の実証

— 豪雨・竜巻の実験結果 防災情報の高度化をめざして —

気象庁 気象研究所 室長 瀬古弘

■ 将来の防災減災にむけた統合地震シミュレーターの役割

海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクトリーダー 金田義行

■ 京で挑む、東北地方太平洋沖地震の再現、そして南海トラフ地震の予測

東京大学大学院 情報学環 教授 古村孝志

■ パネルディスカッション「将来の地球科学を担うコンピュータ」

モデレーター: 海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター長 渡邊國彦

HPCI 戦略プログラム分野3「防災・減災に資する地球変動予測」 第3回シンポジウム

スーパーコンピュータによる防災・減災に資する地球科学

開会挨拶 13:00～13:10 海洋研究開発機構 理事 白山義久

来賓挨拶 13:10～13:20 文部科学省

講演 13:20～16:20

13:20～14:00 全球雲解像モデル NICAM による延長予報・将来台風予測計算

東京大学 大気海洋研究所 教授 佐藤正樹

14:00～14:40 超高精度メソスケール気象予測の実証
— 豪雨・竜巻の実験結果 防災情報の高度化をめざして —

気象庁 気象研究所 室長 瀬古弘

休憩 14:40～15:00

15:00～15:40 将来の防災減災にむけた統合地震シミュレーターの役割

海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクトリーダー 金田義行

15:40～16:20 京で挑む、東北地方太平洋沖地震の再現、そして南海トラフ地震の予測

東京大学 大学院情報学環 教授 古村孝志

休憩 16:20～16:30

パネルディスカッション 16:30～17:30

将来の地球科学を担うコンピュータ

モデレーター：海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター長 渡邊國彦

閉会挨拶 17:30～17:40 海洋研究開発機構 地球情報研究センター長 今脇資郎



主催：独立行政法人海洋研究開発機構

イノカンファレンスセンター 4階 Room A (定員：288名)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4階

参加申し込み (参加無料・事前登録制)

WEB 申込：<http://www.jamstec.go.jp/hpci-sp/sympo2013/>

事務局：〒236-0001 神奈川県横浜市金沢区昭和町 3173-25

独立行政法人海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター

シンポジウム担当：小野・高津

TEL：045-778-5291 FAX：045-778-5491

e-mail：hpci_sympo@jamstec.go.jp

ホームページ：<http://www.jamstec.go.jp/hpci-sp/>